

取材ノートから 記者余論

2020年1月27日朝刊



国立公園に指定されている南アルプス赤石岳の山頂付近＝2019年10月（環境省提供）

南アルプス国立公園計画見直し

地域挙げて価値磨いて

環境省は2020年度から、静岡、長野、山梨3県にまたがる南アルプスの国立公園計画の見直しに向けた調査を始める。指定区域の拡張も視野に入れている。3千以上の山々に多種多様な植物が残り、希少な動物が生息する豊かな自然環境。地域を挙げてその価値を再確認し、さらなる地域活性化に活用する方策を考えるきっかけにしたい。

南アルプスは1964年、国立公園に指定された。総面積は3万5752ヘクタール。貴重な高山植物や野生動物が分布し、登山客に人気がある。ただ、県内の指定区域は赤石岳などの山頂や尾根付近に限定され、静岡市葵区や川根本町の一部計3387ヘクタールと3県で最も小さい。ほかの2県に比べると、来訪者も少ないのが残念だ。

国立公園は自然保護が第一の理念だが、環境省は近年、トレッキングや登山、自然学習など観光振興につなげる戦略も立てている。県内でも、麓の地域がエコツーリズムなどに力を入れている。在来作物や地域固有の伝統芸能など魅力は多い。今以上に地域資源の掘り起こしや磨き上げ、情報発信に取り組むべきだ。

（東京支社・八木敬介）

①南アルプスは何県にありますか。

「
「
「

」県
」県
」県

②南アルプスとはどんなところですか。2つ書きましょう。

③国立公園は自然保護が第一の理念ですが、環境省が南アルプス国立公園に期待していることは何ですか。

年 組 名前